

新型「タント」、月販目標台数の約3倍となる約37,000台を受注 ～子育てファミリーからシニアを中心に幅広い年齢層のお客様からご好評～

ダイハツ工業株式会社(以下ダイハツ)が2019年7月9日(火)に発売した新型「タント」の累計受注台数が、発売後約1ヶ月時点で、月販目標台数(12,500台)の約3倍となる約37,000台となり、好調な立ち上がりとなった。

新型「タント」は、「新時代のライフパートナー」をキーワードに、すべての世代のお客様のニーズにお応えする、ダイハツらしい良品廉価な商品である。「タント」ならではの室内空間の広さに加え、「ミラクルオープンドア」を生かした新しい使い方「ミラクルウォークスルーパッケージ」を実現し、使い勝手の良さをさらに向上。また「次世代スマートアシスト」として、充実した先進・安全装備を採用するなど、全方位で大幅に機能と性能を進化させた。

ダイハツは今後も、スマートアシストの普及を促進するとともに、お客様一人ひとりを照らし、軽やかなモビリティライフを提供するという「Light you up」の考え方にに基づき、多様なニーズにお応えできるスモールカーづくりを推進する。

新型「タント」受注内容

1. 受注台数

約37,000台 【ご参考】月販目標台数：12,500台

- ・購入層は子育てファミリーから子離れ・シニアを中心に、幅広い年齢層にわたる
- ・ほぼすべてのお客様がスマートアシスト搭載グレードを選択
- ・新装備の駐車支援システム「スマートパノラマパーキングパック」「スマートクルーズパック」も想定以上のお客様が選択

2. 主な好評点

- ・ミラクルウォークスルーパッケージによるタントならではの革新的な「使い勝手の良さ」
- ・次世代スマートアシストによる進化した「先進・技術」
- ・DNGAによる新開発プラットフォームで実現した「高い基本性能」



タント X (2WD)